



SORAが企画 介護職員対象に救命救急講習 心肺停止回避の技術学ぶ

SORA（永田京子社長）が呼び掛け、福山・府中の施設から介護職員二二人が参加し

福山市

駅家町の「リハビリサローム」型施設「ゲンキックス」で8月25日、介護施設の職員を対象とした救命救急セミナーが開催された。「ゲンキックス」を運営する(株)



た。

普段から高齢者や身体が不自由な施設利用者や接する機会が多い施設職員の救命救急の技術向上を目的に企画した。「利用者や仲間を守るためには、とっさの行動ができることが大切」と永田社長。

セミナーでは看護師や医師、救命士など救命救急の現場で働く人で構成する「福山救命サークル」のメンバー五人が講師を担当した。同サークルは2005年ごろから活動。福山地域で勤務する約一三〇人が登録し、救命救急についての知識やスキルを周知しようと呼びかけで活動している。

オリエンテーションでは119番通報する際の注意点や、心肺停止の危険がある人

と遭遇した時の対応法を学んだ。119番通報は可能な限り固定電話で行うことや、通報者が言いたいことを言うだけでなく、消防職員の質問に答えることを優先するよう指導した。

心肺停止の危険がある場合は、呼吸の確認などで異常の有無に気付くことが重要と説明。「気道・呼吸・循環・意識」を確認し、「評価・認識・行動」の順に対応するよう求めた。

実際の救命体験では人形を使った胸骨圧迫（心臓マッサージ）

（ジ）の体験や、患者発見から救急措置までの一連の流れのシミュレーションなどを行った。写真上下。胸骨圧迫では胸部を押す腕の角度や、一分間に一〇〇〜一二〇回のリズムで圧迫することなどを教えた。

セミナーは年三回開催する。永田社長は「救命救急の現場で働く方から習ったことをそれぞれの施設に持ち帰って、スキルアップに努めてもらえば」と話していた。▽問い合わせ先（ゲンキックス・稲倉さん）084・983・1846

開業支援に特化

村田健二税理士事務所

SNS使い無休で対応

村田健二税理士事務所（福山市沖野上町五―一九―一七、大黒ビル二階）は、開業前や開業して間もない人を主な対象とした「開業支援」が専門。金融機関にもパイプを持ち、創業融資など資金繰りの悩みにも対応する。

代表税理士の村田健二税理士は同市出身。大手企業の営業畑で勤務後、税理士を目指

して広島市内の税理士法人に転職した。在職中の2011年12月に税理士試験に合格。13年に同法人を退職して福山に戻り、事務所を開業した。「同年代の若い人と長い付き合いができる」と、創業支援を専門にしている。

創業希望者の一番の悩みは資金の問題。村田代表の強みは金融機関との太いパイプで、自身の開業時につながってきた担当者との人脈を活用し、融資の相談などに対応する。民間企業勤務の経験を生かした企業目線でのアドバイスも好評という。

無料通話アプリ「LINE」を活用し、年中無休で相談を受け付ける。顧問料は相手の売上高に応じて月額七八〇〇円からと手ごろな設定とする。ネット系ビジネスをはじめ、建設業や飲食業などで創業の相談が寄せられているという。「最初は不安そうなのが、次第に生き生きした姿になるのを見るのがやがて。『開業支援といえば村田』と言われるようになり、育ててもらった福山に恩返ししたい」と意気込む。

問 084・959・3605